

NEWS RELEASE www.jogmec.go.jp

独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構



問合せ先：地熱部地熱開発課 高橋 TEL:03-6758-8015
広報担当：総務部広報課 乾 TEL:03-6758-8106

「地熱シンポジウム in 函館」を開催 ～北海道の地熱開発の現状、地域活性化への地熱利用をレビューし今後を展望～

JOGMEC(本部:東京都港区、理事長:黒木啓介)は、平成 29 年 10 月 17 日(火)～18 日(水)、北海道函館市において、「地熱シンポジウム in 函館」を開催します。

「地熱シンポジウム in 函館」は、「地熱開発と地方創生を考える ～期待が高まる北海道～」と題し、地熱調査が活発に行われ、今後の地熱発電所の建設計画も期待される北海道道南地方に焦点を当て、函館市(函館市民会館ほか)において開催されます。

道南地方は地熱資源に恵まれ、道内で唯一の大型地熱発電所である森発電所(認可出力:25,000kW)が、森町濁川地区で昭和 57 年から運転を継続しています。また、新たな地熱発電所の建設に向けて JOGMEC の調査助成金を活用した多くの地熱資源量調査が進められています。さらに、森発電所からの農業ハウス向け熱供給は、全国に先駆けて行われた成功事例であり、森町特産のトマトやきゅうりは、ブランド農産品として地域に貢献してきました。

10 月 17 日に開催する本シンポジウムでは、道内で進められてきた地熱発電と地熱を活かした農業などの経験を広く共有することで、地熱開発と地方創生の推進への期待を高めていきます。具体的には、道内で活発に進められている地熱資源量調査の状況や JOGMEC の取り組み、森町での地熱利用事例などを基調講演でレビューするとともに、地熱事業者、自治体関係者などに加え、ゲストタレントも交えて、地域活性化の視点から意見交換を行いながら、今後の地熱開発と地方創生について展望します。

そのほか、地熱シンポジウムの開催にあわせ、会場建物内で、日本地熱学会による市民のための地熱講座、道内の地熱開発事例・地熱地域産品などの展示会、翌 10 月 18 日には地熱発電所や地熱利用施設などを巡る見学会を行います。

開催概要は別紙のとおりで、参加費は無料です。参加者の募集を 9 月 4 日(月)から開始しますので、参加を希望される方は、指定の WEB サイトからお申し込みください。

「地熱シンポジウム in 函館」開催概要

1. 開催日

平成 29 年 10 月 17 日(火)～18 日(水)

2. 場所

函館市民会館大ホール(住所:北海道函館市湯川町 1-32-1)、ほか

3. 主催

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)

4. シンポジウム「地熱開発と地方創生を考える ～期待が高まる北海道～」

平成 29 年 10 月 17 日(火)

14:00～15:20 第 1 部

開会挨拶、来賓挨拶、基調講演「北海道における地熱開発の動向と今後の展望」、
「森町における地熱発電と地熱利用」ほか

15:50～17:00 第 2 部

地熱利用事業の事例紹介、ゲスト・地方自治体・事業者等によるパネルディスカッション
「地熱開発と地方創生」ほか

5. 市民のための地熱講座

平成 29 年 10 月 17 日(火) ※定員 40 名

12:30～13:30 日本地熱学会による地熱発電、地熱開発の平易な解説、模型実演

6. 地熱展示会

平成 29 年 10 月 17 日(火)

12:00～17:30 シンポジウム会場入口前にて、地方自治体及び関係事業者による地熱関連事業紹介、
地域物産紹介・販売ほか

7. 地熱見学ツアー

平成 29 年 10 月 18 日(水) ※定員 40 名

9:00～16:00 函館駅前発着、昼食付(森町内、昼食代・入園料 1,000 円徴収)
森地熱発電所、地熱利用農業ハウス、しかべ間歇泉公園など

8. 参加申込 ※9 月 4 日より申込受付開始

「地熱シンポジウム in 函館」WEB サイト(<http://www.chinetsu2017.jp/>)で受付。参加費無料。

種別	実施日時	定員	締切	当選結果通知
シンポジウム	10 月 17 日 14 時～	500 名	10 月 16 日	先着順
市民地熱講座	10 月 17 日 12 時～	40 名	10 月 4 日	抽選、10 月 10 日当選者に通知
地熱見学ツアー	10 月 18 日 9 時～	40 名	10 月 4 日	抽選、10 月 10 日当選者に通知

9. 問合せ先

「地熱シンポジウム in 函館」開催事務局

Email: info@chinetsu2017.jp

TEL: 03-5117-8540(10:00~12:00、13:00~17:00。土日祝除く。)

10. 共催

日本地熱学会

11. 後援(予定)

資源エネルギー庁、環境省、北海道、北海道函館市、北海道森町、地方独立行政法人北海道立総合研究機構地質研究所、日本地熱協会

12. 参考

本シンポジウムは、開催に際して排出されるCO₂を、北海道内で創出されたJ-クレジット(排出権)でオフセットするとともに、本クレジットの活用を通じて、東日本大震災の復興を応援しています。

以上